

黙 想 (黙 禱)

招 詞 主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、
近くにいますうちに。主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。
(『讃美歌 21』93-1-31)

讃美歌 412 (昔、主イエスの)

主の祈り

讃 詠 28 (み栄えあれや)

聖 書 マタイによる福音書 4章1節～11節
(新約 4頁)

信仰告白 使 徒 信 条

メッセージ 「荒れ野の誘惑」 多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 530 (主よ、こころみ)

頌 栄 27 (父・子・聖霊の)

黙 想 (黙 禱)

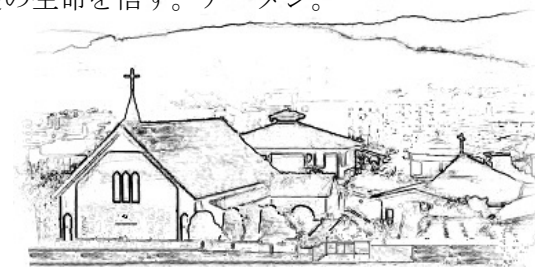
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌 21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌 21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧 師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



3月 9日 マタイによる福音書 4章1節～11節

- 1 さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒野に行かれた。
- 2 そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。
- 3 すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」
- 4 イエスはお答えになった。
「『人はパンだけで生きるものではない。
神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』
と書いてある。」
- 5 次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、
- 6 言った。
「神の子なら、飛び降りたらどうだ。
『神があなたのために天使たちに命じると、
あなたの足が石に打ち当たることのないように、
天使たちは手であなたを支える』／と書いてある。」
- 7 イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」と言われた。
- 8 更に、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、
- 9 「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。

- 10 すると、イエスは言われた。
「退け、サタン。
『あなたの神である主を拝み、
ただ主に仕えよ』
と書いてある。」
- 11 そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが来てイエスに仕えた。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』